

教育課程編成・実施の方針（C P）

1．学類基礎科目

基盤教育の問題探究演習を受け、専門知識・技術の活用、協働的な問題探究(社会的スキル)、社会の改善につなげる創造性(認知的スキル)についての基礎的能力を身につけるために、学類基礎科目を置いています。

2．コース専門科目

各コースに置く専門科目群です。所属するコースの専門科目を履修することで、それぞれの分野の専門知識や技術、固有の問いの立て方や思考法を理解し、価値観や考え方の違いを超えた協働関係を形成しつつ、人間の発達や文化の発展に寄与しうる力を身につけていきます。

3．学際・教養科目

現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力を身につけるための科目です。所属するコースの専門科目群、他コースの専門科目群、学際・教養科目としてのみ計上できる科目群(学際・教養科目群)から、自分の興味・関心にもとづいて自由に選択します。

4．卒業研究科目

学類基礎科目、コース専門科目、学際・教養科目で修得した知識・技術等を総合し、深化するために卒業研究科目を置いています。この科目では、自らの専門性を活かして人間の発達や文化の発展に寄与しようと努力する態度や価値観についても身につけます。

5．自由選択科目

学びの視野を広げ、専門性を深める学びを保証するために自由選択科目を置いています。この領域には具体的な科目は設定されていません。「基盤教育」と「専門教育」の科目の中から、自分の興味・関心にもとづいて自由に科目を選択することができます。

6．コース専門プログラム

それぞれのコースには、専門知識・技術の確実な定着と、認知的・社会的スキルの高度化をはかるための学習プログラムとして、コース専門プログラムが置かれていて、所属コースのプログラムの中から選んで履修します。また、コース専門プログラムは複数履修することもできます。1つ目のプログラムは所属コースのものを履修しなければなりません、2つ目以降は他コースのプログラムを履修してもかまいません。